

<p>4月6日 土</p>	<p>10:00 ～ 11:30</p>	<p>薬剤師会出前講座 テーマ「お薬の正しい飲み方」薬はあなただけのために準備された生鮮食品です ごんべえドリー薬局 渡邊正巳薬剤師 参加者 58名</p> <p>和歌山県の薬剤にまつわる偉人の紹介から始まり、長寿の話まで盛りだくさんの内容でした。 “なぜ、他の人の薬を頂戴してはいけないのか”“服用した薬の効果はどうやって運ばれどこで吸収されるのか” は、きちんと人の体の仕組みを理解することからです。病名が同じ高血圧や不眠でも、薬によって効き方が違うので問題が生じたり効き目がなかったりということが生じてきます。薬はあなただけのために準備された生鮮食品です、ということをもっと理解していただけたのではないのでしょうか。 また、なんでも話せるかかりつけ医とかかりつけ薬局を作ることが自分の体を守る大切なことです。薬の仕組みの話もあり、大きすぎて飲めない薬は、自分の判断でたたき割ったり溶かしたりしないで、かかりつけ薬局に相談しようということでした。 参加者からは、オプラートの使用について。サプリメントについてはどう思いますか？多剤（10種類）服用しているが問題ないか？高血圧と室温。睡眠薬と物忘れとの関係・・・などたくさん質問をいただきました。 時間が少し超過しましたが、熱心に聴いていただきありがとうございました。</p> 
<p>4月17日 水</p>	<p>13:00 ～ 14:00</p>	<p>診療所内カンファレンス 岡本クリニック 24名参加 9症例のカンファレンスを実施</p> <p>4月から着任された保健所 土生川所長も出席され、「医師とケアマネ等多職種がこのように近い立ち位置で、活発に有意義なカンファレンスをしている。」と終わりの挨拶がありました。 5月から脱水のシーズンに突入するようです。担当の利用者さまや周囲の方に水分摂取の言葉かけと注意深い観察をお願いします。 今回はリハビリについての意見が出ました。開始時、指示書の記入依頼が医師に届くと、「〇月から訪問リハを開始するので指示書を書いてください。」といった依頼がある。開始は患者・家族の希望をケアマネが受けとって、ケアマネの指示で医師が指示書を記載。指示書を記載した時点で責任は医師に。終了、卒業は医師が告知する。・・・まだまだ在宅医療と介護のチームになっていませんよね。岡本先生は「決して意味のないリハはないけれど・・・。また、開始すれば必ず意味は持たせるけれど・・・。」とおっしゃいます。リスク管理、責任の所在、目標と見通しなどしっかり情報共有していきたいですね。3月にワールドカフェで話し合ったので、もうすぐ効果が出てくると期待しています。</p>
<p>2月19日 火</p>	<p>14:00 ～ 15:00</p>	<p>診療所内カンファレンス 前田医院 14名参加 6症例のカンファレンスを実施</p> <p>* 高齢者の一人暮らしや老々介護の現状の報告が多くありました。体の不具合や認知の障害を持ちながら、それでも何とか住み慣れた我が家で過ごしたい、過ごさせてあげたいと家族や関係者がされている努力が身に沁みました。</p> <p>* 支援1・支援2で少ないサービスを受けながら自宅で何とか過ごされている方がいれば、方や、リハビリは卒業できないとか冬だけはデイサービスでお風呂に入りたいとか・・・など、（一概には言えませんが）依存傾向の方も。 ///// ここからは プロフェッショナル 風に しかし、包括のかたは糸口を掴んでいました。</p> <p>プロフェッショナル 自信をつけること。 仕事の流儀 役割を与えること。 多職種で連携すること。 期待を言葉にすること。</p> <p>やはりプロの方はすごいですね。 /////</p> <p>* 最近活発に退院時カンファレンスも実施されているようですが、退院時カンファレンスメンバーに訪問看護師の参加はまだ少ないようです。退院が決まればまずケアマネージャー。医療ニーズの高い方は訪問看護師の出番があるようです。医療ニーズとは気管切開やボートの留置や・・・等。まだまだ認知症が医療ニーズとされるのは遠いのでしょうか。訪問看護師が成果を積み重ね、成功体験を報告するなど、実証していただきたいと思います。</p>